

木の優しさと鉄の強さをあわせ持つ信頼工法、テクノストラクチャー

在来木造軸組工法の良さを生かし快適な住まいを作り出す、パナソニック耐震住宅工法テクノストラクチャー。

構造体の強度を大きく左右する梁部分を、木と鉄骨の複合梁「テクノビーム」で強化し、バランスのとれた強靱な躯体を実現します。



GOOD DESIGN



長期優良住宅
対応!

※申請には所定の手続きのため、別途経費が必要です。

地震に耐える、強い骨組み

パナソニック
耐震住宅工法

テクノストラクチャー

テクノストラクチャーの住まいから生まれる「安心」と「快適」



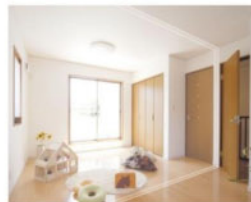
高耐震

テクノストラクチャーの家は地震に強い家。実物大の住宅を巨大な振動台にかける「実大振動実験」を実施したところ、阪神淡路大震災と同等の震度7でも構造体の損傷・変形はなく、5回の激震にも耐える高い耐震性が立証されました。



広々空間

テクノストラクチャーなら、最大開口約6.0mの大空間や、大きな開口部を実現。空間活用の幅もくっくと広がります。



自由度

耐力壁でない壁は「フリーウォール」として設置位置が自由。思い通りの間取りや、ご家族の将来を考えたプランが実現できます。

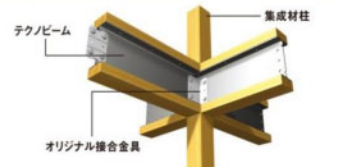


快適環境

高い断熱構造なので、快適な暮らしが実現。また、断熱性能が高い住宅は部屋毎の温度差も出にくく、オープンな空間にぴったり。家全体をひとつの空間としてのびのび使えます。

安心の秘密

①テクノビーム・集成材柱



テクノストラクチャーでは、家を支える大切な梁に鉄と木の複合梁「テクノビーム」を採用。接合部も金具で強化し、ムクの柱の1.5倍の強度を持つ集成材柱でさらに耐震性を高めています。



※ムク材平成12年建設省告示第1452号に定める「すぎ」無等級材
※集成材平成13年国土交通省告示第1024号に定める強度等級E95-F315集成材

②オリジナル接合金具



各構造材の接合部には、オリジナル接合金具を採用。構造材をガッチリと緊結し、高強度を実現します。

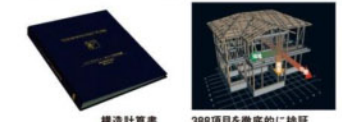


柱と梁はほぞ金具とドリフトピンでがっちり接合します。一般的な接合金物を使用した場合と比べ、柱の引抜き強度は約3倍です。

③構造計算(災害シミュレーション)



お客様の家実際に建てる前に、コンピューター上で、地震や台風を再現し、その力に耐える住まいかどうかを検証するシステムです。388項目の検証項目を設けて、構造強度を徹底的に検証します。さらに、お客様にお引渡しされる住まいには、すべての項目をクリアしたことを証明する、構造計算書をお付けしています。



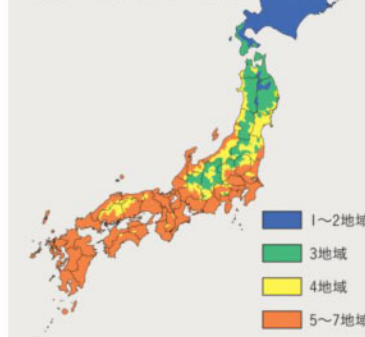
快適さの秘密

ひとと環境へのおもいやり。平成25年 省エネルギー基準 対応の省エネ住宅です。

テクノストラクチャーでは、地域によって大きく違う気候に対応できるよう、地域ごとに壁、天井、床の断熱仕様を設定しており、夏の強い暑さをやわらげるとともに、冬の暖かき室内の空気を逃がしにくい、省エネルギー性に優れた住まいをご提供しています。

■断熱地域区分

(平成28年省エネルギー基準)



窓まわり(アルミ樹脂複合サッシ+Low-Eガラス)

優れた断熱効果のサッシとLow-Eガラスにより、室内外の温度差による結露を防ぎ、外気の室内への流入も防ぎます。ガラスには紫外線カット効果も。

